

# 令和7年度分（2026-03に提出する分）

## 手順1：

（もし【紙の銀行通帳】を使っているなら）

新年を迎えた後、今年度、つまり去年の1月～12月分について、【紙の銀行通帳】の記入をしておいてください。

ATMでは、

- 通帳記入ができるもの
- できないもの
- 通帳記入はできても新しい通帳に跨ることはできないもの
- （銀行本店のような）新しい通帳が出てくるもの

があります。ATMは、駅前のPacoとかにあつたりします。場所は調べておいてください。

（もし【Web通帳】を使っているなら）

三井住友銀行のOliveを使っているなら、口座残高の[リンク](#)をクリックすると履歴が出てきます。  
しかし、【Web通帳】に切り替えたばかりだと、【紙の通帳】に記載分までは遡れません。

## 手順2：

去年の確定申告の控えがキングファイルに入っているはずです。これが参考になります。

よく棚を探してください。

このキングファイルの中から出して別の場所へ置くといったことをしないでください。

## 手順3：

- 財布に**小銭**を入れてください（コピー印刷用）
- 印刷物を入れる**フォルダー**を用意してください。フィットネスジムに行くときの鞄に入れるといいでしよう
- [□ 国税庁 > 確定申告書等の様式・手引き等（令和7年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告分）](#)
  - [□ 申告書第一表・第二表【令和7年分用】（PDF/297KB）](#)
  - [□ 所得税青色申告決算書（一般用）【令和7年分用】（PDF/1,958KB）](#)

☞ 申告書の第一表、第二表のPDF（[01.pdf](#)みたいな名前）と、  
青色申告で一般用のPDF（[10.pdf](#)みたいな名前）をダウンロードして保存  
USBに移し替えて、コンビニでカラー印刷。

USBの置き場所が、年々変わっています。**机の上**か、**通帳を置いてある所**を調べてください。

ステイックタイプではなく、爪ぐらいの小ささの32GBのものに変わっています。買った時の箱に入れてあります。運搬するときや、使い終わったときは、その箱に収納してください。

## 手順4：

提出用と控え用の2セットになっているので、分けます。

以下、まず控え用の方を鉛筆で埋めていくとします。

## 手順5：

決算書2ページ目左上。月別売上(収入)金額及び仕入金額の売上(収入)金額の列を埋めていきます。  
サラリーマンとしての月給はここには含めません。

## 手順6：

銀行通帳の方に普通預金利息が付いているかもしれません。令和6年度分の1月～12月について銀行通帳を確認してください。

シャープペンシルなどを使って印を付けていきましょう。11, 171 計 182。

普通預金利息を雑収入のところに書きます。

## 手順7：

地代家賃の内訳の欄には、去年の確定申告の決算書を参考に書いてください。

不動産屋は引っ越しがあるので、所在地の住所はインターネットで確認しておいてください。

足を運んで出かける不動産屋の店舗と、支払先の口座の所有者はまた違います。よく確認してください。

2年に1回 保険料分変わってくるのも気をつけてください。

## 手順8：

地代家賃の内訳のノリで、決算書の1ページ目を開いてください。去年の控えを参考に埋めていってください。1～4ページ埋めてください。

## 手順9：

とりあえず、去年の申告書2枚を手元に出してください。

そのまま真似はできませんが、似たようなところに書き込む必要があるはずです。

屋号とか氏名とか。

## 手順10：

第二表 所得の内訳へ、去年の給料(収入)の金額を記入してください。

We bページなどで、会社の源泉徴収票を見れば支払金額と源泉徴収税額が書いてあるはずです。

## 手順11：

申告書の書き方は

□ 確定申告書等の様式・手引き等（令和6年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告分）

ページの、

□ 令和6年分所得税及び復興特別所得税の手引き（PDF/28,109KB）

を参照。